



ハイナイト祈禱課題 2024年7月号

1. テロ襲撃の生存者たちを覚えて

ステロットは、日本支部が長年タウンサポートプログラムで支援している町の一つです。ガザ地区から1.5kmほどに位置し、20年間にわたって、ミサイルが撃ち込まれてきました。ミサイルのサイレンが鳴ってから、シェルターに逃げ込むまでに与えられた時間はわずか15秒。そのため、町のいたるところにシェルターが設置されています。昨年10月7日のテロでは、100発以上のミサイルが着弾し、テロリストが侵入。町は一時的にテロリストに占拠されました。町の安全のシンボルだった警察署も占拠され、そうとは知らずに、警察署に助けを求めに来た人々も殺される事態となりました。最終的に、イスラエル国防軍が警察署のビルを爆破せざるを得ませんでした。今回のテロで、ステロットでは、市民50人以上、警察官20人以上が犠牲となりました。5月末、局長の田畑がイスラエルを訪れ、ステロットを訪問しました。

「ステロットに到着すると、町のいたるところに銃弾の跡がある家、ミサイルで破壊された家々がありました。テロ生存者の女性がお話ししてくださいました。この女性は過去、ガザ地区からのロケット攻撃で人が負傷するのを目撃し、トラウマを抱えていました。10月7日の早朝も、サイレンが鳴り響き、恐怖に襲われながら、防空シェルターに身を潜めました。外では、テロリストたちの声が聞こえます。食べ物も水もトイレもないシェルターで、10時間耐え忍びました。幼い娘さんが聞いてきたそうです『お母さん、パレスチナ人は私たちを殺すためにやって来るの?』。それに対し、母として答えることができなかったとおっしゃっていました。

ユダヤ人であるという理由だけで、追い回され殺される。ホロコーストさながらだったと。10



爆破された警察署と犠牲者を追悼するペイント
Photo by Michio Nagata/Bridgesforpeace.com

月7日のあと、一家は避難生活を送っていましたが、最近ステロットに帰ってきたそうです。『もし私たちが帰ってこなかったら、テロリストの勝利になってしまう』と。

3月の時点で、この女性のように避難生活を送っていたステロット市民の85%が、町に戻っています。しかし、多くの人が心に深い傷を負っています。ステロットでは、心理カウンセラーがテロ以前の4倍となりました。建物など物理的なダメージは回復してきていますが、市民の精神的なサポートが急務となっています。

今回、ステロット訪問にあたって、町の皆さんに慰めをお届けしたいと願い、タウンサポートの支援者の方々に色紙を書きいただきました。町の担当者の方や、お話しして下さったテロの生存者の方々に色紙をお渡しし、日本のクリスチャンがステロットの皆さんを覚えて祈り続けていることをお伝えしました。受け取った方々が一枚一枚の色紙をじっくりと見ていた姿が忘れられません。皆さんの愛と祈りは、確実にイスラエルの人々に届いています」

「慰めよ、慰めよ、わたしの民を。——あなたがたの神は仰せられる——」（イザヤ40:1）

- ① 10月7日のテロによって心に深い傷を負った人々に、主の癒やしと回復があるように。
- ② ステロットの町を始め、心理カウンセラーの数が不足している地域に、十分なカウンセラーが与えられるように。
- ③ 壊滅的な打撃を受けた町の人々が、一日も早く安心して過ごせる日常を取り戻せるように。

2. 日本の教会減少と宣教のために働く人々を覚えて

クリスチャン人口が1%に満たないと言われる日本。教会数も減少傾向にあり、ある統計では、プロテスタント教会の数は8千を切りました。そ

の原因の一つが「少子高齢化」です。教職者の高齢化も進み、後継者が不足しています。最も多い年代は60代で、今後10年で教職者不足は加速す

る恐れが出てきました。少子化の影響から、教会に集う子どもの数も減っています。

一方、若者たちは教会の外で福音に触れる機会があります。ミッション系の幼稚園や学校、大学などです。ある統計によると、日本の宗教系の大学などのうち、60%はキリスト教系です。聖書に触れたことのある学生・生徒・児童数は毎年54万人にも上るといふ統計もあります。

また、コロナ禍以降、インターネットを使って伝道を行う教会や個人が増えてきました。YouTubeで登録者数が1万人を超えるクリスチャンの番組もあります。あらゆる機会を用いて行われる伝道が祝福され、日本全国に福音が広がっていくように。また、福音に出会った方々が地域教会につながっていけるよう祈ってまいりましょう。

そこでイエスは弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主にご自分の収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」(マタイ9:37~38)

- ①教職者の先生方の健康が支えられ、教会の働きが守られるように。
- ②聖書に触れた若者たちが救われて献身し、各地で教会が建て上げられていくように。
- ③あらゆる伝道の働きが祝福され、多くのたましいが救いに導かれ、教会につながっていくように。

3. テロ被害者支援を覚えて

昨年10月7日のテロ攻撃で、イスラエル南部の町々は、壊滅的に破壊され、1300人以上が殺害されました。その中で、ガザ国境近くのコミニ



娘さんが殺された男性と
Photo by Michio Nagata/Bridgesforpeace.com

ティー「ゾハル」は、命懸けで町を守った2人の勇士の応戦により、町の破壊は免れました。しかし、6名の住民が町の外で惨殺され、深い悲しみとトラウマの中にあります。加えて、ゾハルは、貧しいコミュニティでありながら、行政から十分な支援を受けられていないことが分かりました。BFPは、こうした支援の行き届かない町や人々に支援の手を伸ばしています。そして、具体的な支援を通して、「あなたは一人ではない」と、主の愛と希望を表していきたいと願っています。

映像はこちら ▶▶▶



<https://youtu.be/OmXKO4etDvl>



主は心の打ち砕かれたものを癒やし 彼らの傷を包まれる。(詩篇147:3)

- ①ゾハルへの支援プロジェクトが祝福され、人々が主から慰めを受け、生活再建へと踏み出すことができるように。
- ②BFPがテロや戦争で苦しみ、支援の必要な人々や町々に出会い、御心にかなった支援を行うことができるように。
- ③激しい反ユダヤ主義が世界を席卷する中で、イスラエルのために祈りと支援をもって立ち上がるクリスチャンを主が用いてくださるように。

「ハイレイトソング」

視聴・譜面のダウンロード



<https://www.bfpj.org/music/>

「ハイメール通信」

祈りの第一声として
祈禱課題をお届けします(不定期)



<https://www.bfpj.org/pray/chaimail/form/>



特定非営利活動法人 **B.F.P. Japan**(ブリッジス・フォー・ピース)

TEL: 03-5969-9656 FAX: 03-5969-9657 URL: www.bfpj.org

ハイレイトに関するお問い合わせ: chainight@bfpj.org